We create chemistry

殺虫剤

コテツ®フロアブル



殺虫剤分類 13

有効成分
クロルフェナピル …… 10.0%

登録番号：第19184号
性　　状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒　　性：医薬用外劇物
有効年限：5年
包　　装：(250mℓ×20本)×2箱
500mℓ×20本

■特長

●適用作物が多く、100以上の幅広い作物に使用できます。

●殺虫スペクトラムが広く、チョウ目、アザミウマ目、ダニ目、カメムシ目、コウチュウ目、ハエ目などさまざまな害虫に有効です。

●ユニークな作用性を有し、殺虫剤として唯一のピロール系呼吸系阻害剤です。

■適用害虫と使用方法

（2026年11月4日現在）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
りんご	キンモンホソガ ナミハダニ ハマキムシ類 ミノガ類	2000倍	200～700ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ヨモギエダシャク リンゴサビダニ	2000～4000倍					
もも	ミカンキイロアザミウマ			収穫前日まで			
ネクタリン	モモハモグリガ カンザワハダニ ナミハダニ モモサビダニ ウメシロカイガラムシ	2000倍					
	ミカンキイロアザミウマ	2000～4000倍		収穫7日前まで			
おうとう	ナミハダニ カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ オウトウショウジョウバエ ウメシロカイガラムシ	2000倍					

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ぶどう</td><td>チャノキイロアザミウマ
フタテンヒメヨコバイ
ミカンキイロアザミウマ
ブドウサビダニ
ハマキムシ類</td><td>2000～4000倍</td><td rowspan="11">200～700ℓ/10a</td><td rowspan="2">収穫60日前まで</td><td rowspan="5">2回以内</td><td rowspan="12">散布</td><td rowspan="5">2回以内</td></tr>
<tr><td>ナミハダニ
カンザワハダニ
ハスモンヨトウ
トビイロトラガ
モンキクロノメイガ
コガネムシ類
ミノガ類
ブドウハモグリダニ</td><td>2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かき</td><td>ナミハダニ
カンザワハダニ</td><td rowspan="2">収穫14日前まで</td></tr>
<tr><td>カキノヘタムシガ
イラガ類
アザミウマ類
カキサビダニ</td><td>2000～4000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">なし</td><td>ナミハダニ
カンザワハダニ
ニセナシサビダニ</td><td>2000～3000倍</td><td rowspan="6">収穫前日まで</td><td rowspan="2">3回以内</td><td rowspan="2">3回以内</td></tr>
<tr><td>ヨモギエダシャク
チャノキイロアザミウマ</td><td>2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かんきつ</td><td>ヨモギエダシャク
ハスモンヨトウ
リュウキュウミカンサビダニ
カネタタキ
スグリゾウムシ</td><td>2000～4000倍</td><td rowspan="7">2回以内</td><td rowspan="7">2回以内</td></tr>
<tr><td>アザミウマ類
（ネギアザミウマを除く）
チャノホコリダニ
ミカンサビダニ</td><td>2000～6000倍</td></tr>
<tr><td>いちじく</td><td>ヒラズハナアザミウマ
カンザワハダニ
ショウジョウバエ類</td><td rowspan="6">2000倍</td></tr>
<tr><td>小粒核果類</td><td>オウトウハダニ
ウメシロカイガラムシ
イラガ類</td></tr>
<tr><td>キウイフルーツ</td><td>キウイヒメヨコバイ
コガネムシ類</td></tr>
<tr><td>マンゴー</td><td>チャノキイロアザミウマ</td><td rowspan="2">収穫14日前まで</td></tr>
<tr><td>ゴレンシ</td><td>カンザワハダニ</td></tr>
<tr><td>ブルーベリー</td><td>イラガ類
オウトウショウジョウバエ</td><td>収穫前日まで</td><td>3回以内</td><td>3回以内</td></tr>
<tr><td>あずき</td><td>ハダニ類
ノメイガ類</td><td>100～300ℓ/10a</td><td>収穫3日前まで</td><td>2回以内</td><td>2回以内</td></tr>
</table>

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
豆類(未成熟、但し、えだまめ、実えんどう、さやえんどう、さやいんげんを除く)	ハダニ類	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
えだまめ	ハダニ類 コフキゾウムシ						
さやいんげん	ハダニ類 アズキノメイガ						
実えんどう さやえんどう	ハダニ類 ハスモンヨトウ						
きゅうり	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ハダニ類 ウリノメイガ ウリハムシ				3回以内		3回以内
うり類（漬物用）	ミナミキイロアザミウマ ハダニ類				2回以内		2回以内
すいか	ミナミキイロアザミウマ	4000倍					
	ハダニ類 オオタバコガ ウリノメイガ	2000倍					
にがうり かぼちゃ （日本かぼちゃ）	ミナミキイロアザミウマ						
トマト ミニトマト	オオタバコガ ミカンキイロアザミウマ ナミハダニ トマトサビダニ トマトキバガ				3回以内		3回以内
なす	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ チャノホコリダニ ハダニ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ テントウムシダマシ類				4回以内		4回以内
ピーマン とうがらし類 （ししとうを除く）	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ オオタバコガ ハダニ類				2回以内		2回以内
ししとう	ヒラズハナアザミウマ	4000倍					
キャベツ	コナガ アオムシ タマナギンウワバ ハスモンヨトウ ヨトウムシ シロイチモジヨトウ オオタバコガ ハイマダラノメイガ	2000倍					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
茎ブロッコリー	アオムシ			収穫前日まで			
カリフラワー	コナガ			収穫3日前まで			
ザーサイ	ハスモンヨトウ			収穫14日前まで			
メキャベツ				収穫7日前まで			
非結球メキャベツ				収穫14日前まで	1回		1回
なばな類				収穫7日前まで	2回以内		2回以内
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ カブラハバチ			収穫前日まで			
非結球あぶらな科葉菜類（こまつな、チンゲンサイ、なばな類、非結球はくさい、非結球メキャベツを除く）	コナガ			収穫14日前まで	1回		1回
チンゲンサイ				収穫7日前まで			
こまつな	アオムシ コナガ ハクサイダニ			収穫3日前まで			
非結球はくさい	アオムシ コナガ			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
だいこん	アオムシ コナガ ダイコンサルハムシ			収穫21日前まで	1回		1回
かぶ	コナガ ナモグリバエ ヨトウムシ			収穫前日まで	2回以内		2回以内
みょうが（花穂）	ハダニ類					散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
みょうが（茎葉）	ハダニ類	2000倍	100～300ℓ/10a	みょうが（花穂）の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	2回以内	散布	2回以内
いちご	ハダニ類 ハスモンヨトウ シクラメンホコリダニ ミカンキイロアザミウマ			収穫前日まで			
ねぎ	シロイチモジヨトウ ヒョウタンゾウムシ類 ネギハモグリバエ ネギコガ			収穫7日前まで			
オクラ	ハスモンヨトウ オオタバコガ			収穫前日まで			
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ ナモグリバエ ヨトウムシ						
モロヘイヤ	アザミウマ類			収穫7日前まで	1回		1回
あしたば	ウドノメイガ				2回以内		2回以内
やまのいも	カンザワハダニ ナガイモコガ			収穫前日まで			
やまのいも（むかご）				収穫3日前まで			
かんしょ	ハスモンヨトウ ハダニ類 ムツスジアシナガゾウムシ			収穫前日まで			
	ヨツモンカメノコハムシ シロイチモジヨトウ	2000～4000倍					
	ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
はすいも（葉柄）	カンザワハダニ ハスモンヨトウ	2000倍	100～300ℓ/10a			散布	
さといも				収穫7日前まで			
さといも（葉柄）				収穫3日前まで			
アスパラガス	ハダニ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ ジュウシホシクビナガハムシ ヨトウムシ		100～500ℓ/10a	収穫前日まで			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
ふき	ハスモンヨトウ ハダニ類	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
ふき（ふきのとう）				収穫90日前まで			
てんさい	ヨトウムシ ハダニ類 カメノコハムシ			収穫7日前まで			
セルリー	ヨトウムシ			収穫14日前まで			
にんじん	ヨトウムシ キアゲハ ヒョウタンゾウムシ類			収穫前日まで			
みつば	ハスモンヨトウ			収穫14日前まで 但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	1回		1回
みしまさいこ				収穫21日前まで	2回以内		2回以内
エンサイ				収穫3日前まで			
コリアンダー（葉） やなぎたで				収穫7日前まで			
つるむらさき					1回		1回
しゅんぎく				収穫14日前まで	2回以内		2回以内
しょうが				収穫前日まで			
		32倍	3.2ℓ/10a			無人航空機による散布	
葉ごぼう		2000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
すいぜんじな	ハダニ類 ヨトウムシ			収穫前日まで	2回以内		2回以内
よもぎ	ミナミキイロアザミウマ			収穫3日前まで	1回		1回
葉にんにく	ハダニ類			収穫14日前まで			
つわぶき とうき					2回以内		2回以内
せんきゅう				収穫前日まで			
たらのき				収穫90日前まで			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
はまぼうふう（葉）	ハダニ類	2000倍	100～300ℓ/10a	親株養成期 但し、収穫90日前まで	3回以内	散布	3回以内
うど	シクラメンホコリダニ			根株養成期 但し、収穫75日前まで	2回以内		2回以内
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	4000～6000倍		2葉期まで 但し、収穫14日前まで	1回		1回
さんしょう（果実）	チャノキイロアザミウマ	4000倍	200～700ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内		2回以内
とうもろこし ヤングコーン	ハダニ類 オオタバコガ ツマジロクサヨトウ	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで			
食用プリムラ	ハスモンヨトウ ヨトウムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ			収穫14日前まで			
食用金魚草 食用なでしこ 食用エキザカム 食用せんにちこう 食用トレニア 食用パンジー	ミカンキイロアザミウマ ヨトウムシ類 ハダニ類						
食用ミニバラ				収穫3日前まで			
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ カンザワハダニ チャノナガサビダニ チャノホコリダニ シャクトリムシ類 チャノコカクモンハマキ マダラカサハラハムシ チャトゲコナジラミ		200～400ℓ/10a	摘採7日前まで			
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ヨトウムシ類 ハダニ類 オオタバコガ アワダチソウグンバイ		100～300ℓ/10a	収穫3日前まで			
きく（葉）				収穫7日前まで			
きく			150～300ℓ/10a	発生初期			
ストック	コナガ アオムシ ヨトウムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
花き類・観葉植物（きく、ストックを除く）	ヨトウムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ	2000倍	150～300ℓ/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
しきみ	クスアナアキゾウムシ	2000倍	200～700ℓ/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
しきみ	クスアナアキゾウムシ	60倍	6～21ℓ/10a	発生初期	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
アザレア	チャノホコリダニ	2000倍	100～300ℓ/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
なんてん（葉）	アザミウマ類	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
飼料用とうもろこし（子実）	ハダニ類 オオタバコガ ツマジロクサヨトウ	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
みかん	温室、ガラス室等密閉できる場所	ミカンキイロアザミウマ	300mℓ/10a	10ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	常温煙霧	2回以内
ぶどう	温室、ガラス室等密閉できる場所	チャノキイロアザミウマ	150mℓ/10a	6ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	常温煙霧	2回以内

マイナー作物等の登録拡大に伴いグループ化した作物名

グループ化した作物名	含まれる作物（品種）
小粒核果類	あんず、うめ、すもも
豆類（未成熟）	えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、未成熟ささげ、未成熟しかくまめ、未成熟そらまめ、未成熟なたまめ、未成熟ふじまめ
うり類（漬物用）*	赤毛ウリ、食用ひょうたん、食用へちま、しろうり、漬物用すいか、漬物用まくわうり、漬物用メロン、とうがん、はやとうり、ゆうがお
とうがらし類	甘長とうがらし、かぐらなんばん、きだちとうがらし、ししとう、とうがらし、ハバネロ、ピーマン、ピカンテ
非結球あぶらな科葉菜類	あざみな、あじみな、あぶらな、海野（茎葉）、大高菜、大山そだち、カーボロネロ、かぶな、かほくな、からしな、ケール、ケールッコラ、こまつな、さがみグリーン、さぬきな、四川搾菜（茎葉）、千宝菜、タアサイ、体中菜、たかな、食べて菜、チンゲンサイ、チンゲンルッコラ、てごろ菜、なずな、なばな類、のざわな、パクチョイ、畑わさび、畑わさび（根茎）、畑わさび（葉）、非結球はくさい、非結球メキャベツ、べんり菜、みずな、餅菜、山形みどりな、ラファノブラシカ、ルッコラ、わさびな

*うり類（漬物用）は従来の作物群の作物名

農薬登録における作物群の作物名について(2021年1月14日改正)「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用作物等の名称について」(2019年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)農林水産消費安全技術センターホームページをご参照ください。
http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。
注1 現在、農薬の適用作物には含まれていない作物を含みます。適用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその名称が変更される場合があります。
注2 品種名及び栽培条件(施設栽培等)等については省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等にのみ使用できるものです。

⚠ 効果・薬害等の注意事項

●使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。

●ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、次のことに注意してください。
①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
②できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態としてください。

●ボルドー液と混用する場合は凝集することがあるので、本剤を調製した後にボルドー液と混合してください。

●ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。

●散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。

●本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の表裏に十分に散布してください。

●きゅうり、なす、はくさい、だいこん、非結球あぶらな科葉菜類、なばなおよびセルリーの幼苗期に使用すると薬害を生じることがあるので注意してください。

●みずかけな(水掛菜)に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでださい。

●ピーマン、とうがらし類に使用する場合、品種により葉に褐点などの薬害を生じることがあるので予備散布により薬害のでないことを確認してから散布してください。

●かき(刀根早生など)の着色期の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。

●すいかに使用する場合、葉に薬害を生じることがありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。

●にがうりの幼苗期には薬害を生じるので、定植前には使用しないでください。定植後のにがうりに使用する場合、葉に灰褐色などの斑点の薬害を生じることがあるので予備散布により薬害のでないことを確認してから散布してください。

●西洋かぼちゃ(黒皮栗、青皮栗、えびす、雪化粧、みやこ、黒皮甘栗、栗味、栗マロン、芳香等)には薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。

●ほうれんそうに使用する場合、葉に白化などの薬害を生じるおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。

●ばら、食用ミニバラに本剤をはじめて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

●カーネーションへの散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。

●シクラメンに使用する場合、新葉に薬害を生じる場合があるので、薬害の出ないことを事前確認してから散布してください。

●カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用後14日間は入水しないでください。

●周辺の作物にかかると薬害を生じる場合があるので、かからないよう十分注意して散布してください。

●蚕に対して影響があるので, 周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
③関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●マルハナバチに対して影響があるので注意してください。

●本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
①散布機種の散布基準に従って実施してください。
②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
④散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
⑤散布終了後は以下の注意事項を守ってください。
・使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。
・散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。

●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

〈小粒核果類、豆類（未成熟）、うり類（漬物用）、とうがらし類、非結球あぶらな科葉菜類〉

●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

●医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。

●散布等の作業の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

●常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

魚毒性…水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保　管…直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、
またはクリックしてください。